

まがり
PROJECT
とは

八王子 × 学生 × 居場所

このリーフレットは、創価大学文学部社会福祉専修西川ハンナゼミを中心とした、八王子市内の若者の居場所づくり・社会参加・出会いのきっかけづくりを目的とした活動「まがりプロジェクト」を通して体験

した、地域へ出でていくきっかけや活動を時系列に報告し、地域の方たちに助けられながら、ほんのちょっと地域の役に立った方法等を多くの八王子の学生に知ってもらうことを目的としています。特に自分の居場所を探している学生に読んでほしいと思います。

まがりプロジェクトのメンバーも、双六のサイコロを進めるように様々な体験を重ねて八王子の街中に自分の居心地の良い場所、知り合いをつくっていました。

裏面には、実際に学生が勧める八王子駅周辺の店舗をマップにしました。大学の所在地である八王子をもっと知ることは、学生生活をより豊かにしてくれるはずです。この活動に興味を持ったり、参加したいと思ったりされた方はSNSを覗いてみてください。

まがりSNS

Twitter : HachiojiMagari
Instagram : hachiojimagari
Mail : hachiojimagari@gmail.com



大学コンソーシアム八王子
The Consortium of Universities in Hachioji
平成30年度 学生企画事業補助金対象事業

スタート!



第1回語り場「まがりの進め方」
語り場に興味ある人が少なからずいました。
やっていく内に増えるだろうという、
やんわりした雰囲気のもと、どんな方向性にしていくかも分からぬがらも、
まがりが始まりました。

八王子のすべての学生が集まる場所を創ることを最終目標に、学外のフードバンク八王子ワークスさんを間借りしました。

マンガアジト -鬱-

1月に始まったばかりのマンガアジト -鬱-さんもフードバンク八王子ワークスさんを間借りして始まりました。「マンガのあるあなたの居場所」気持ちが優れない、踏み出せない、一人になりたいけどなりたくない、そんな時に居場所となれるアジトが -鬱-です。



古本まつりボランティアとして参加しました。地域の行事に若者の力が必要とされていることを実感。地域とのつながり作りがここから本格的にスタート。

第2回語り場では、「ひきこもり」をトーケーテーマに、元当事者や当事者の家族視点からをメインスピーカーに立て、語り合いました。



街あるき事前調査を実施。コミュニティカフェオーナーがふれあいサロンをスタートするというので自宅訪問。東京都にひとつしかない道の駅八王子滝山、同年代の方が経営するボードゲームカフェへ赴きました！

第3回語り場では多くが経験したであろう部活動をテーマに、社会の理不尽と戦う不屈の話や、成長や新たな気づきを得た経験など多様なストーリーが織り成されました。

フードバンク八王子ワークス

フードバンク八王子ワークスは生活困窮世帯への食料提供や生活相談、発達障害の方に向けた就労支援を行う、就労支援移行事務所です。八王子に根付いた地域密着型の活動を行なっており、毎月月末に開催されているまがりの「語り場」はこれらを間借りして実施されています。周囲や身近に困難を抱えている人がいるときに、この機関を紹介することや相談に来ることを何時でもお待ちしているそうです。



居場所がないと
感じたら・・・
まがりプロジェクト



12月

まがりワークショップを学内で初めて開催しました。学内外でメディアに掲載され関心をもってくれる学生に、サークルの必要性を訴えながら活動の説明や、模擬語り場を体験してもらいました。

第8回語り場は「今年を振り返ろう」をトーケーテーマに、1年間で得たことやこれまで来れたことをお互いに称え合いました。そして、とうとう他大学の学生参加が実現しました。来年の更なる発展を期待します。



11月



10月に参加した八王子の街をこよなく愛する市民で結成されているくちコミ隊さん協力の下街歩きを実施。知らないことばかりでびっくりの八王子の魅力を堪能!これを知らずに卒業するのにはモッタイナイ!

語り場は、「人生で無駄だったこと」をトーケーテーマに開催。これまでで一番少ない人数でしたが、だからこそ話しやすくなり、10月に続き居心地の良さを考える上で新たな発見もありました。



10月

古本まつり
口コミ隊との出会い
まがり感謝デー
第6回語り場

5月の体験を基に古本まつりに出店しました。参加したスタッフは2日間の運営の中で、ポップアップやお客様への声かけに工夫をしながら、仲も深まりました。また口コミ隊さんの街歩きツアーにお手伝いとしての参加を通して、更に商店街の方や地域の方との交流が生まれました。

まがり感謝DAYではお世話を呼び、横の繋がりが広がっていることを再確認でき、新たにプラットフォームとしての機能も作ることができました。



8月

番外編



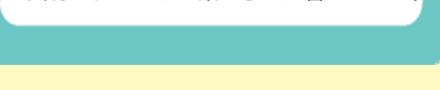
まがりのベースメンバーである西川ゼミが長野県諏訪市で2泊3日のゼミ合宿。地方における商店街・空き店舗の活用の様子についてフィールドワークを実施。古材など扱うリビルディングセンター・ジャパンも訪問しました。古い物を大切に失敗も恐れず新たな仕組みを創ろうと挑戦する大人達にまがりの活動に通じるところを感じます



9月

初出店となる第19回八王子古本まつりに向け、学内で本の収集やブースの準備、宣伝等に着手。開催日が大学の学祭と日程が被っていましたが、学生から「学園祭だからこそ、大学に居場所がない学生に古本祭りが活用できるのではないか」という発言を受けて、だからこそ出店に至りました。

第5回語り場では「働き方」をテーマに開催。少し先を生きる人生の先輩の失敗や挫折など成功体験のみでなくリアルな体験の共有が、まがりに集う学生に響きました。



ゴール!

ほら、つながった